

北里大学病院・北里大学東病院(旧)を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	個人の完全主義認知がギャンブル障害患者および物質使用障害患者の回復に与える影響についての後方視的研究 (B23-025)
当院の研究責任者 (所属・職位)	医学部精神科学 教授 稲田 健
他の研究機関および各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・目的	ギャンブル障害を有する人々は、ギャンブルをしたいという強い渴望を生じ、その衝動を抑えることが困難であり、次第にギャンブルの程度や頻度が制限できなくなるとされてます。ギャンブル障害の症状が悪化する心理的な要因として完全主義(高い目標に向かって努力することや、ミスを恐れること)が考えられています。先行研究では、ギャンブル障害と診断された人々の、初診時における完全主義認知がギャンブル障害の重症度と関連することを明らかにしておりますが、その後の治療過程にどのような影響を与えているかについては検討されておりません。また同じく依存症である薬物依存症と完全主義認知との関連性についても検討されておりません。そこで本研究では、初診時における完全主義認知がギャンブル障害の回復にどのような影響を与えているかに検討することを目的として、薬物依存症を臨床対象群とし調査を行います。本研究によって明らかとなった完全主義認知の働きは、依存症の治療過程におけるドロップアウトおよび再ギャンブル防止のための精神療法開発に貢献することが期待されます。
調査データ 該当期間	北里大学東病院精神神経科に設立されていた「薬物依存症専門外来」および「ギャンブル障害専門外来」で2018年4月1日から2020年3月31日まで、および北里大学病院精神神経科に設立されている「薬物依存症専門外来」および「ギャンブル障害専門外来」で2020年4月1日から2022年3月31日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	例)上記期間内に「薬物依存症専門外来」および「ギャンブル障害専門外来」で当院に通院されていた患者さん
研究の方法 (使用する試料等)	利用する情報 2018年4月1日から2022年3月31日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。
試料/情報の 他の研究機関への 提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究の遂行のための費用は、北里大学医学部精神科学における一般研究費を使用します。 研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

所属・職位:臨床心理室 一般職

担当者:緒方 慶三郎(オガタ ケイザブロウ)

電話:042-778-8111

備考